

理念・教育目標		
<p>(理念・ミッション)</p> <p>専門技術は、知識、技能、そして人間力を兼ね備えてこそ発揮できるものであるという信念に基づき、人間力と品位を有する職業人ならびに専門職業人を育成することをミッションとする。</p> <p>日本語学科では、専門技術＝日本語力ととらえ、日本語の知識、運用力にとどまらず、人間力にも注力した教育を行う。</p> <p>(教育目標)</p> <p>神戸電子専門学校、神戸情報大学院大学あるいはその他の高等教育機関（大学等）に進学することを目的とする。</p> <p>(育成する人材像)</p> <p>日本語の知識、運用力にとどまらず、異文化理解、コミュニケーション能力の育成を図り、実社会においてグローバルに活躍できる国際人としての素地を養う。</p>		
1	学校運営	評価
1)	学園全体の運営方針が策定されている。	4
2)	日本語教育機関の告示基準に適合している。	4
2	入学者の募集	評価
1)	教育内容を含む最新、かつ、正確な学校情報を開示している。これらは想定する入学志願者の理解できる言語で行うよう努めている。	4
2)	海外の募集代理人の行う募集活動が適切に行われていることを把握している。	4
現状と課題		
	HP上で、中国語（簡体・繁体）、韓国語、ベトナム語、英語で日本語学科の情報を開示。現在、海外用webサイトを作成中。	
	現在、中国、台湾地域、韓国、ベトナムを中心に募集活動を行っているが、各国の担当者を決め、日常的に連絡を取っている。	
3	入学者選考	評価
1)	入学者の選考に関し、学習能力、勉学意欲、経費支弁能力、日本語能力等について根拠資料で確認する等、適切な方法で確認している。	4
2)	入学者の選考にあたっては、学校関係者が面接等を行うよう努めている。	4
現状と課題		
	入学者の選考では、根拠資料を精査し、ほぼ100%の許可率を維持している。選考面接は、学校職員が現地へ赴き直接面接をするほか、スカイプを利用し、全員に面接を行っている。	
	② 今後の課題	
	③ 特記事項	
4	納付金	評価
1)	入学検定料、入学金、授業料その他納付金の金額、納付時期、納付方法、及び学費以外に入学後必要な費用を募集要項に明記している。	4

2)	関係法令に基づいた学費返還規定を定め、公開している。	3
3)	上記1)、2)について、入学志願者、在籍者及びその経費支弁者の理解できる言語で情報公開に努めている。	3
現状と課題		
	1)については明記し、入学志願者、経費支弁者の理解できる言語に翻訳している。2)の学費返還規定は学則に明示、必要に応じて説明する。情報公開に向けて準備中。	
5	学生支援	評価
1)	日本社会を理解し、適応するための取り組みを行っている。	4
2)	進路指導を適切に行っている。	4
3)	重篤な疾病や傷害のあった場合の対応を定めている。	2
4)	入管法上の留意点について学生への伝達、指導等を定期的に行っている。	4
5)	不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取り組みを継続的に行っている。	4
現状と課題		
	本学科では毎日授業終了後1時間、学校に残りHRや自律学習の時間にあてている。この1時間を学生支援や教育活動、進路支援に活用、具体的には、担任との個人面談、学習支援、進路説明会、進路面談などである。また、新入生に対しては、入学オリエンテーション、資格外活動説明会、入寮説明会などを行い、日本のルールを理解し、学生が日本の生活に慣れるための取り組みを行っている。 進路指導に関しては、進路担当者を決め、担当者を中心に担任と連携を取りながら進路支援を行っている。 また、職員が緊急携帯を所持、24時間対応できるようにしている。	
6	教員	評価
1)	校長、主任教員、専任教員及び非常勤教員の職務内容を明確に定めている。	4
2)	教職員の教育力及び支援力強化のための研修を実施すると思に、他機関の実施する研修会への参加を促している。	3
3)	教育評価を適切に行っている。	2
現状と課題		
	夏季休暇などを利用した研修会を年1回実施、それ以外に外部の研修会参加も行っている。非常勤教員に関しては、授業見学を実施、専任の授業を見学してもらったり、授業を見せてもらい、フィードバックを行い、教員すべてがより質の高い授業を行えるよう取り組んでいる。教育評価に関しては、学園全体のものはあるが、告示校としての日本語学科独自の評価に取り組み始めたばかりである。	
今後の課題		
	教育評価について、学園全体の評価活動とどうリンクさせていくか。	
7	教育活動	評価
1)	理念・教育目標に合致したコースを設定し、カリキュラムを体系的に編成している。	4
2)	授業開始前までに学習者の日本語能力を試験等で判定し、適切なクラス編成を行っている。	4

3)	教員の能力、経験等を勘案し、適切な教員配置をしている。	4
4)	授業記録簿等を備え、実施した授業を正確に記録している。	4
5)	理解度、到達度の測定と評価を実施期間中に適切に行い、その結果を的確に学生に伝えている。	4
6)	授業評価を含む教育活動の評価を定期的に行なっている。	3
現状と課題		
	入学時にプレイスメント試験を実施、クラスを編成する。また3か月ごとに定期試験を行い、レベルに達していない学生には補習、再履修を行わせる。	
	各レベルのカリキュラムは専任がそれぞれ担当、内容の充実を図るとともに、学生の実態に合わせた縦断的な取り組みができるよう、レベル間でのカリキュラムのすり合わせを行う。	
今後の課題		
	非漢字圏学生の増加により、N3合格を視野に入れたコースが必要となっている。従来通りN1を目指す学生もあり、限られたクラス数の中で、効果的なクラス編成、選択授業などさまざまな工夫が必要。	
8	教育施設	評価
1)	教室内は十分な照度があり換気がなされているとともに、語学教育に必要な遮音がなされている。	3
2)	授業時間以外に自習できる部屋の確保に努めている。	4
3)	法令上必要な設備等を備えている。	4
現状と課題		
	場所によっては暗いところがあり、改善を申し出ているが、構造上難しい。机の配置の工夫などで対処している。	
9	安全・危機管理	評価
1)	対象となる学生全員が国民健康保険に加入している。	4
2)	感染症発生時の措置を定めている。	2
3)	気象警報発令時の措置、災害発生時の避難方法を定め、教職員及び学生に周知している。	2
現状と課題		
	気象警報発令時の措置は、学園全体で決めているが、日本語学科は授業の時間帯が他の学科と異なるため、日本語学科独自の措置も別途必要。	
今後の課題		
	新型コロナウイルスの感染拡大により、その対応を学園全体で取り組んだが、これほどの規模の感染に対しては手探りで、後手に回った感否めない。今回の経験で今後整備すべきところがあったので、それに向けて対処していきたい。	
10	法令の遵守等	評価
1)	法令遵守に関する担当者を決めている。	3
2)	教職員のコンプライアンス意識を高めるための取り組みを行っている。	3
3)	個人情報保護のための取り組みを行っている。	4
4)	入国管理局をはじめとする関係省庁等への届出、報告を遅滞なく行っている。	4

①	現状と課題
	個人情報保護については、学園全体で取り組んでいる。具体的には、個人情報が記載された印刷物は専門業者で廃棄処分、ブログなどで写真を掲載する場合は、本人の許可を取る、学生の連絡先などは本人の許可を取ったうえで教えるなど。個人情報の書かれた書類はキャビネットに入れて保管しているが、一部施錠できないものがあるので改善が必要。
②	今後の課題
	告示基準については、皆で情報共有し遵守するよう取り組んでいるが、ハラスメント等学生、職員の人権に関わる面についてまだまだである。事例研究などで理解を深めていきたい。
③	特記事項